

第五次総合計画方針別基本計画平成28年度実績等一覧(全67施策)(所属別評価 全71項目)

A : 計画通り		31			
B : 概ね計画どおり		35			
C : あまり進んでいない		5			
D : 全く進んでいない		0			
方向性	単位施策	施策の内容	平成28年度実績		
			実施した取組内容と成果及び課題	評価	担当課
1-1	自然とのふれあい・居住	・レクリエーションや環境学習、保全活動などを通じて、豊かな自然にふれあい親しむ機会や場づくりを充実します。	【取組内容】 環境学習会(自然環境に関する情報提供や学習の機会を提供) <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みエコ講座 <ul style="list-style-type: none"> 公共交通に親しむ(49名参加) カワゲラウォッチング(18名参加) ペットボトルエコライトづくり(16名参加) ステンドグラスうちわづくり(40名参加) ・環境フェア2017開催(1000名参加) ・環境学習講師(東濃高、上之郷中、御嵩小、成人講座にて実施) ・みたけの森で環境学習(共和中、御嵩小実施) 保全活動(希少野生生物や在来種の保全) <ul style="list-style-type: none"> ・前沢湿地保全事業(県森林環境基金事業＝伐採除伐等) ・特定外来生物駆除(オオキンケイギク、ブラックバスほか) ・町希少野生生物保護監視員によるパトロール 【成果】 環境学習に関しては、小中学校で展開する学習のほか、町が主体となって展開する環境学習にも多くの参加者があり、場づくりの成果は得られた。 【課題】 希少野生生物の保全をどのように行っていくのかを検討する必要があります。	B	環境モデル都市推進室
		・豊かな自然環境を求めて御嵩町にやってくる移住者の受け入れを促します。	【取組内容】 自ら売り込むため、タウンプロモーションを展開する必要があると考え、都市部(東京・大阪・名古屋)へ足を運び、直接都市部の方々にお伝えする機会を設けてPR活動を行った。 【成果】 子育て世代の方からは、「自然環境も大切だが、学校や公共交通機関がある程度整っている中で気持ちに余裕を持った生活がしたいため、御嵩町ならいいかもしれない」との声をいただき、御嵩町を知ったうえで検討いただいている様子も伺えた。 【課題】 空き家の売り主と移住希望者の思いをマッチングできるよう現行の相談体制の充実について新たな手法を検討する必要があります。	B	企画課
1-1	水辺環境と農地の保全	・希少野生生物について、専門家などの協力を得て、生息状況の調査と保全のための対策を進めます。	【取組内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・前沢湿地保全事業(町生物環境アドバイザー及び岐阜大学教授の協力) ・特定外来生物の駆除作業(町生物環境アドバイザーの協力) ・町公共工事における環境配慮指針に基づく、事業実施箇所の希少野生生物の状況確認(町生物環境アドバイザー) 【成果】 上記の取組について、町生物環境アドバイザーと連携・協力をするなかで事業を進めてきた 【課題】 町生物環境アドバイザーは、長年活動されている方が多く、若返りが進んでいない。専門的知識も必要とするので、新たな人材発掘について取り組む必要あり。	B	環境モデル都市推進室
		・水辺環境や湿地、農業用ため池の保全を図ります。	【取組内容】 各水利組合等により、ため池等の草刈りが行われている。 【成果】 ため池等の適正管理がなされている。 【課題】 水利組合の構成員の高齢化により維持管理が困難になりつつあり、人材確保の手法について検討する必要あり。	B	農林課
		・農業の担い手確保や農地の集約により、農地の保全と遊休農地の解消を図ります。	【取組内容】 滞在型農業体験施設の整備を計画している中、地元農家の一部の方々との意見交換を行い、地域の強みと弱みを確認した。 【成果】 地元農業関係者の理解協力を得ながら、地域住民や農業体験を希望する方などが農地を有効に利用できる仕組みを整え始めた。 【課題】 これから地元との調整をおこなっていかなくて、運営、施設管理など人材確保について取り組む必要あり。	B	
1-1	里山や生態系の保全	・里山保全を行うボランティアへの参加促進や、企業との協働による森林づくり協定、森林経営信託により里山の保全を進めます。	【取組内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・東濃高校(6月 5名)森林体験学習を開催 ・町青少年育成町民会議「里山と親しむ体験講座」(11、3月)体験学習を開催 ・その他、行政懇談会(6月)で水土里隊のPR、役場本庁舎玄関、よつてりやあみただけで「企業との協働による森林づくり」のPRを行った。 【成果】 <ul style="list-style-type: none"> ・新たに1企業の森と協定締結 ・水土里隊新規入隊者の確保2名 【課題】 水土里隊員の高齢化及び新規入隊者の鈍伸	C	農林課

方向性	単位施策	施策の内容	平成28年度実績		
			実施した取組内容と成果及び課題	評価	担当課
1-2	環境モデル都市の推進	・地域資源を最大限に活用し、低炭素化と持続的発展を両立する環境モデル都市の実現を図ります。	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林経営信託方式による計画的な森林整備(可茂森林組合) ・森林ボランティア(水土里隊)の活動による森林整備 ・企業との協働による森づくり(3社:岐阜造園、アサヒビール、東邦ガス) <p>整備面積: 森林経営信託 13.13ha、水土里隊 1.2ha、企業との協働 5.0ha</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災コミュニティセンターに15kWの太陽光発電設備を導入(現在、町有施設(9ヶ所)に太陽光発電設備を導入) <p>【成果】</p> <p>可茂森林組合による森林整備は計画通り進められている。企業との協働による森づくり実施事業者が増えたことが成果として上げられる。</p> <p>【課題】</p> <p>森林整備にて伐採した枝葉などを木質バイオマス燃料として有効利用することや竹の有効利用が課題となっている。</p>	B	環境モデル都市推進室
1-2	循環型社会の形成	・生ごみの堆肥化をはじめとするごみ減量への取組を促進するとともに、環境にやさしい商品(グリーン製品)の利用拡大、ごみの分別収集の徹底などを推進し、3R(Reduce発生抑制、Reuse再使用、Recycle再生利用)に積極的に取り組みます。	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンボールコンポスト、生ごみ処理機等の購入補助の継続・周知活動の継続をおこなった。 ・生活学校リサイクルステーション(月1回)、あゆみ館リサイクルステーション(月～金曜日常設)を開設し、自治会やアパートなどによる資源物の分別や、子供会、PTA等の資源回収により、廃棄物の減量、再利用の推進を図った。 ・グリーンカーテン作成講座、作った作物を利用するエコクッキング教室、料理から出た生ごみから堆肥を作るダンボールコンポスト講座を開催し、3Rの取り組みの住民周知をおこなった。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金の啓発を継続した結果、設置型コンポスト5件、ダンボールコンポストセット7件、堆肥化密封容器2件、電動式等生ごみ処理機6件、剪定枝葉粉砕機4件の購入補助をおこなった。 ・分別資源収集の周知徹底をおこなった結果、前年度より約65tほどの可燃ごみ搬入量を削減することができた。 ・グリーンカーテン講座28名、エコクッキング講座21名、ダンボールコンポスト講座13名の参加者があった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年々補助件数が減少している。 ・一般系のごみのさらなる減量化をはかるため、剪定枝葉の資源化、再利用のシステムを考える。 ・今後、講習を受講していただくだけでなく、実証検分をおこない、3Rの取り組みの重要性をエビデンスを用いて町民の方に納得していただく必要あり。 	A	住民環境課
		・ささゆりクリーンパークの効率的な運営を関係市町村と進めるとともに、南山一般廃棄物処分場の適正管理を進めます。	<p>【取組内容】</p> <p>南山一般廃棄物処分場に搬入希望の住民宅で、搬入物の検査確認を必ずおこない、不法廃棄物が搬入されることの無い様管理している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年に1回岐阜県より、南山一般廃棄物処分場の管理検査がおこなわれている。県職員と立ち合い、処分場の廃棄状況を確認し、年間投棄量の報告をおこなって、適正管理をおこなっている。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・19件の投棄申請があり、すべて搬入物の検査を行い、不適正なものが搬入されないよう管理をおこなった。 ・11月15日岐阜県環境課廃棄物対策課職員と町職員とで立入検査をおこない、適正管理をおこなった。 <p>【課題】</p> <p>管理人を常駐させていないため、柵をこえての侵入や、不法投棄を抑制することが困難である。</p>	A	
		・森林の再生、公共交通の再生と次世代自動車への転換、家庭・事業所での削減活動、分散型エネルギーへのシフト、人づくり・場づくりの推進など、環境モデル都市行動計画に定める施策の具現化を着実に進めます。	<p>【取組内容】</p> <p>各施策の代表的な実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林の再生＝上記(1-2 環境モデル都市の推進)に記載 ・公共交通の再生と次世代自動車への転換(名鉄広見線の活性化イベント実施や環境フェア2017で水素自動車の啓発) ・家庭・事業所での削減活動(節電チャレンジ2016実施やJクレジット販売による企業のオフセット実施) ・分散型エネルギーへのシフト＝上記(1-2 環境モデル都市の推進)に記載 ・人づくり・場づくりの推進(北海道下川町へ本町生徒を森林体験学習として派遣。下川町からは子ども交流ツアーとして本町に来町いただき、上之郷小児童と交流を図った。また、島根県とも交流が始まった。) <p>【成果】</p> <p>各課室にて展開する事業等により、環境モデル都市行動計画の進捗が順調に図られている。実績をまとめ内閣府に報告している(公表済)。今年度、内閣府に提出した資料上では、H26年度値で二酸化炭素(Co2)削減実績は2.2%の減であった。</p> <p>【課題】</p> <p>環境モデル都市行動計画の目標としている温室効果ガスの削減(H30年度にH21年度比10%削減)が達成させるための取り組みを検討する必要あり。</p>	B	環境モデル都市推進室
		・一人ひとりの子どもが、よりよい生活をみだすことができる、生きる力を育てるために、確かな学力を身に着ける指導を充実します。	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上推進:教育委員会作成の事業構想図をもとに各校において推進計画を作成し、主題研究を中心に実践を進めている。どの学校も個に応じたきめ細かな指導に力を入れ、指導案に「3つの見届ける」を位置づけ、授業改善に取り組んだ。 ・小中連携:3中学校区ともに3回の交流会を行い、授業改善、校種連携等に取り組んだ。 <p>【成果】</p> <p>小学校から中学校への滑らかな接続のために、互いに大切にしていけることを共通理解し実践していくことの重要性を再確認できた。28年度の拡大交流会は伏見小学校で実施し、町内全教職員が集まり、伏見小学校の1年間の実践を理解した。</p> <p>【課題】</p> <p>今後も各教師の指導案の点検、内容向上に向けて連携して取り組み、切磋琢磨を重ねていく必要あり。</p>	A	

方向性	単位施策	施策の内容	平成28年度実績		
			実施した取組内容と成果及び課題	評価	担当課
2-1	学校単位での人づくり	・子どもが健全に育ち学び続けることができるように、幼稚園・保育園・小学校・中学校が連携した教育を進めます。	<p>【取組内容】</p> <p>昨年度までの実績をもとに、合同教科部会や相互の全校研究会への参加、兼務の授業等を実施した。中学校区の職員は、学び方づくりや生き方づくり、体づくり部会に分かれ、それぞれの部会の取組に工夫を凝らしている。</p> <p>【成果】</p> <p>アプローチカリキュラムやスタートカリキュラムを作成することで幼稚園保育園から小学校への滑らかな接続のための実践を積み上げることができた。</p> <p>【課題】</p> <p>小中交流会が充実し、小中連携は年々深まっており、学力・体力の向上には各校区で工夫しながら成果を上げた。今後は高校との連携により一層取り組んでいく必要あり。</p>	A	学校教育課
		・グローバル化や情報化などの社会環境の急速な変化にも対応することができるように、外国語教育、ICT教育など特色ある教育を推進し、人材を育成します。	<p>【取組内容】</p> <p>ALTは日本語に精通しており、子どもたちの実態に応じた楽しい英語活動を実践した。本年度より外国語教育指導員を採用し、各校における外国語活動の充実に努めた。</p> <p>【成果】</p> <p>8/12には、小学生16名によるサマーワークショップを実施し、東濃高校の外国籍生徒3名が参加協力した。</p> <p>8/23の教育の集いでは、中学生英語スピーチや小学生暗唱スピーチの発表会を実施した。</p> <p>また、2学期より2名のALTを採用した。明るく穏やかな人柄で子どもたちからも慕われており、楽しい授業を展開している。</p> <p>外国語教育指導員の指導により、教師の授業力も伸びてきている。</p> <p>All Englishの授業が浸透しつつあり、一層コミュニケーション能力の向上を図っていく。</p> <p>【課題】</p> <p>今後は、東濃高校の外国籍生徒を外国語活動や英語の指導者として活用していきたい。</p> <p>(ICT教育)</p> <p>【取組内容】</p> <p>補助事業を活用して、各学校にタブレット端末を導入した。</p> <p>【成果】</p> <p>合計で71台を導入。</p> <p>教職員の研修を8/9に実施し、使用方法を確認した。また、導入後にアプリケーションを必要に応じ導入し、授業での活用ができた。</p> <p>【課題】</p> <p>今後は、各学校でのパソコン教室用機器更新事業を進めることを検討する必要あり。</p>	A	
		・地域と家庭と学校の連携を強化して、開かれた学校運営と地域における教育を進めます。	<p>【取組内容】</p> <p>ふるさとふれあい夢づくり事業を継続実施し、小学校では菊づくりや米作り、大豆づくり等、地域の人材を活かしながら取り組んだ。</p> <p>また、中学校では御嵩町の環境に目を向け、地域探索をしたり環境マイスターを活用したりしながら学習を進めた。</p> <p>【成果】</p> <p>地域の特色を生かしながら発達段階に応じた体験活動を仕組み、地域の方々と関わることができた。</p> <p>【課題】</p> <p>今後も各学校下での地域特色を活用した教育の推進に努めていきたい。</p>	A	
2-1		・地域とともに、子どもが地域にふれあう機会を充実し、ふるさとへの愛着を育むとともに、地域づくりに必要な豊かな発想を持つ人材を育成します。	<p>【取組内容】</p> <p>『愛の絵手紙&一行詩』の取り組みを行った。</p> <p>【成果】</p> <p>平成28年度は、合計で1,501点の応募があった。</p> <p>1人1点の応募や審査方法などの見直しを行ったことで、作品の審査などをスムーズに行うことができ、長楽荘などの施設でも周知することができた。</p> <p>【課題】</p> <p>今後、募集要項の見直しや絵手紙講座開催時期について検討する必要あり。</p>	A	生涯学習課
2-2	ふるさと教育の推進	・町民や特に次世代を担う子どもたちがふるさと「みたけ」に誇りを持つように、魅力ある催しや地域活動の展開を支援します。	<p>【取組内容】</p> <p>・乳幼児期・幼保期・小学校期・中学校期と0歳から15歳まで繋がる家庭教育学級を推進した。</p> <p>・保健センターと連携し0歳児学級加入の促進を実施した。</p> <p>【成果】</p> <p>乳幼児期から中学校期では、1/14に行った家庭教育学級合同講演会に向けて幼保小中の学級役員を集めて、講師のNHK放送のビデオ鑑賞を行い、参加の周知徹底を図ると同時に役員同士の情報交換や交流の場を設け円滑な学級の運営支援につなげることができた。</p> <p>【課題】</p> <p>周知方法や参加者の増員、父親の参加をいかに増やしていくかが課題である。</p>	A	

方向性	単位施策	施策の内容	平成28年度実績		
			実施した取組内容と成果及び課題	評価	担当課
2-1 3-3	青少年の健全育成	・家族の絆を深めることができるように、家庭教育を継続的に支援します。	【取組内容】 各関係機関のご協力によりすべての学級で一家庭一実践の取り組みを実施した。11/5の中山道往來に合わせて、企画課やまちづくり課と連携し、生活学校などの協力を得て家族学級を行い、家族のふれあいの場を設けた。 【成果】 当日は幼稚園の行事と重なり、約100人の親子が名鉄電車を利用して、御嵩駅や明智駅付近でのウォークラリーなどを楽しんでいただいた。 【課題】 当日の運営にたくさんの機材や人員を要することから、実施方法などについて検討する必要がある。	A	生涯学習課
		・青少年が非行や犯罪に巻き込まれないように、自立心や社会性を育む体験活動などへの参加促進や社会参加の機会を提供するなど、青少年の健全育成を進めます。	【取組内容】 ・あいさつ運動・街頭啓発活動・大型店舗パトロールなど、青少年の健全育成活動を推進した。 ・平成25年度よりスタートした『おSUN歩あるきたい』を自治会等へ積極的に参加の呼びかけを行った。 ・郡PTAと連携して町民大会を同時開催した。 【成果】 『おSUN歩あるきたい』参加者数：H27末 482人→H28末544人 【課題】 郡PTA評議員会では、青少年育成町民会議のあいさつ運動について学校のPTAごとで共同実施に向けて検討していく必要がある。	A	
2-2	人権の尊重	・町民一人ひとりが家庭や学校や職場、地域社会のあらゆる場面で人権を尊重して行動し、性別や出身地・国、文化的背景などの差別をなくし、みんなが共生する明るい住みやすい社会を築きます。	【取組内容】 ・人権擁護委員による保育園・幼稚園での人権紙芝居の上演及び小学校でのひびきあいの日を通じた人権教育活動や、人権擁護委員による町内企業での啓発活動をおこない、家庭への人権尊重に関する意識啓発につなげている活動をおこなった。 ・人権映画会(12月)、人権子育て講演会(1月)・人権環境講演会(2月)を開催し町民の方に人権について考える会を開催した。	B	福祉課
2-2	男女共同参画の推進	・町民一人ひとりが固定的な性別役割分担にとらわれず、互いに尊重しあい、自分らしい生き方を実現できるまちを目指します。	【取組内容】 ・平成27年度に策定した御嵩町第3次男女共同参画プランにおける成果指標22項目と具体的な取組実績80項目についての調査を行い結果を取りまとめた。 ・取りまとめた結果を、庁内の推進会議および男女共同参画懇話会へ報告した。 ・懇話会委員による寄稿文の広報掲載(毎月)、男女共同参画週間の周知を行い、住民への意識啓発を行った。 【成果】 ・男女共同参画に関する講演会を実施し、46名の参加があった。 【課題】 ・庁内の推進会議および男女共同参画懇話会にて発出された意見をヒントに課題解決とさらなる推進を図る必要がある。 ・御嵩町第3次男女共同参画プランにおける平成31年度の目標に対して、多くの指標・実績が順調に推移しているものの、職員の男性の育児休暇取得など実績がない項目もあり、原因追究と各部署への課題解決のサポートの必要あり。 ・住民への意識啓発にあっては、SNSやケーブルテレビ等より多様な媒体を使用した周知の必要あり。 ・男女共同参画に関する講演会を実施に際しては、より多くの来場が見込めるテーマの選出と告知を行う必要あり。	B	企画課
		・町民の心豊かな生活や生きがいづくりのために、地域の特性に応じた公民館活動の充実と、町民が気軽に参加することができ、世代間や他地域との交流ができる生涯学習の機会を充実します。	【取組内容】 公民館講座と公民館行事の支援ということで、4公民館の地域性と指導者の持ち味を生かした講座が展開された。 【成果】 地域の人材に加えて東濃実業高校の生徒を講師に迎えてパソコン講座を行った。 【課題】 今後、さらに地域の人材の確保や講座からサークルへの発展、東濃高校生の講師依頼ができる講座の検討をする必要あり。	A	

方向性	単位施策	施策の内容	平成28年度実績		
			実施した取組内容と成果及び課題	評価	担当課
2-2	生涯学習の推進	<p>・成熟社会を迎えている中で地域においてますます求められる、歴史文化の継承、環境、福祉、健康づくり、食育、地域産業、ボランティア活動などを学ぶ機会を充実するとともに、その経験を生かすことができる機会を提供します。</p>	<p>【取組内容】 住民のニーズに応える成人講座を展開した。 (各講座 全7回) 出席総数 834名 ・「御嵩を知る」 男性7名・女性33名計40名 延べ223名 ・「大人の総合学習と英会話」 男性4名・女性19名 計23名 延べ115名 ・「古典文学」 男性7名・女性29名 計36名 延べ175名 ・「手作り芸芸」 女性35名 計35名 延べ167名 ・「いきいき健康」 男性1名・女性34名 計35名 延べ154名 成人講座受講者を中心に継続して学ぶ組織づくりの支援ということで、昨年立ち上がった「旬会」からの要請で、会員募集の働きかけを行った。 【成果】 講座のボランティアスタッフを募集したところ、2名の申し出があった。 【課題】 今後の主体的な活動を生み出す組織的活動への発展について検討する必要がある。</p>	A	生涯学習課
		<p>・地域とともに、子どもが地域にふれあう機会を充実し、ふるさとへの愛着を育むとともに、地域づくりに必要な豊かな発想を持つ人材を育成します。</p>	<p>【取組内容】 地域の中で多様な経験や技能を持つ人材等の協力により、土曜日等に地域文化の伝承や農業体験学習や手話体験などの「地域子ども教室を各公民館で開催し、豊かな創造性や人と環境にやさしい意識を育むための機会とし、子どもたちのより豊かで有意義な土曜日等の場とした。 【成果】 「上之郷公民館」 詩吟・尺八教室外 大人 16名・子ども 45名 「御嵩公民館」 田んぼの学校・和風作り他 大人 302名・子ども254名 「中公民館」 野菜塾・エコクッキング他 大人150名・子ども 222名 「伏見公民館」 科学体験他 大人 84名・子ども 612名 「ダンクキッズ」 バスケットボール 大人 70名・子ども 224名 計 大人622名・子ども1,357名 計 1,979名 【課題】 今後も参加者への周知方法や確保の仕方、地域コーディネーターの設置、活動ボランティアの確保などが課題となる。</p>	A	
3-1	地域自治の強化	<p>・地域における防災や防犯、地域福祉、環境保全などの活動の必要性について自治会・町民の理解を促し、住民自治力を強化します。</p>	<p>【取組内容】 自治会活動に対し、自治振興報償費を交付し、活動の支援を行った。 【成果】 自治会連絡協議会を開催するなどして、地域自治会活動の連携や情報交換等を実施した。 【課題】 最近自治会に加入しない世帯も増加傾向にあり、地域内のコミュニティ意識を高めることが課題である。</p>	B	住民環境課
		<p>・地域で防犯や防災などに取り組むためのコミュニティリーダーを育成するとともに、子育て支援や健康づくりなど町民が交流する機会づくりや、集会所の整備などを支援します。</p>	<p>【取組内容】 集会所の整備については、建設や改修に必要な資金の一部を補助することにより、集会所の充実を図った。 【成果】 平成28年度は、7自治会 総額1,559,000円を補助した。 特に震災に対して施設が保全されるよう、耐震補強工事の補助率を上げる要綱改正(H29.4月から適用)を行った。</p>	A	
3-1	地域防災活動の推進	<p>・地域が主体となって、地域の課題を把握して、みんなでより良い地域をめざすためのビジョンや計画づくりを支援します。</p>	<p>【取組内容】 平成24年度～27年度に認定した防災リーダーについては、フォローアップ研修を年3回開催し、より高いレベルでの知識・技能を身に付けてもらい、スキルアップを図った。 【成果】 「御嵩町防災アカデミー」を開講し、防災リーダーが34名誕生し、内22名が防災士を取得した。 【課題】 防災リーダー会の役割・方向性を確定し、地域が主体となって行動してもらうにはどうすれば良いか検討する必要がある。</p>	B	総務防災課
		<p>・地域において自助、共助の意識を高めるとともに、自分たちの住む地域を守るためのハザードマップづくり、防災訓練などの取組を促します。</p>	<p>【取組内容】 町の防災訓練では、住民主体訓練として、非常持ち出し袋の点検・講習を実施したり、各自治会の避難状況、安否確認等の情報伝達訓練を新たに実施することで、地域住民の自助・共助の意識高揚に努めた。 【成果】参加者については昨年度より増加した。 【課題】 防災訓練において、今後さらに参加者を増やし、いかに多くの自治会に参加していただけたか検討する必要がある。</p>	A	

方向性	単位施策	施策の内容	平成28年度実績		
			実施した取組内容と成果及び課題	評価	担当課
3-1 3-2	地域福祉活動の推進	・誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるように、地域や社会福祉協議会、事業所、NPO、ボランティアなどと連携して、地域福祉の担い手の育成や生活支援などの地域福祉活動の充実を図ります。	【取組内容】 ボランティアセンターと行政との協力の強化を図った。 御嵩町社会福祉協議会主催の生活支援活動の担い手講座の講義を実施した。 【成果】 12名ほど参加していただいた。	B	福祉課
			【取組内容】 4地区で「元気で100歳まで御嵩町で暮らし続けるために」と題した会議を実施した。高齢者が地域で集える場所を参加者より提供してもらい、「つどいの場ガイド」を作成し、ホームページでも情報提供を行った。 【課題】 今後ガイドの活用方法も含め、参加者拡大に向けたイベント等、対策を考える必要あり。	B	保険長寿課
3-2	高齢者福祉の充実	・高齢者や障がい者が住み慣れた地域や家で生活することができるように、適切な介護サービスや在宅福祉サービスの提供、介護予防や生きがいつくりの支援、個別の障がいに応じたケアなど、地域における包括的な福祉サービスを提供します。	【取組内容】 高齢者生きがいつくりのため、ボランティアポイント制度を創設し、各種ボランティア団体に平成29年度スタートに向けて募集、説明会を行った。 【成果】 高齢者ボランティア団体「ぬくもりの家」サロンについて防災コミュニティセンターの管理も含め協議を重ね、月2回から週2回へ更なる活動の充実を図ることができた。 【課題】 今後、ボランティアポイントでは個人でも参加できるよう制度の改正についての取り組みや、サロン利用者を増加させるため広報やFMらら等を利用した宣伝を考えていく必要あり。	B	保険長寿課
			【取組内容】 障がい福祉サービスの利用者に対し、ケース会議(町、相談支援専門員、障害福祉サービス提供事業者、本人による。)を行い、自立に向けた調整や生活支援を実施した。 【成果】 ケース会議を92回実施。 【課題】 高齢者に比べ、障がい者に対するサービスの種類が少ないことが課題である。	B	福祉課
3-2	障がい者福祉の充実	・障がいについての町民の理解を促進するとともに、障がい者の就労や社会参加の拡大を図ります。	【取組内容】 ・東濃高校で生徒への障害福祉への理解を深めていただくために関連の授業を開催した。 ・就労移行支援のための相談にのり、社会参加の手助けを行った。 【成果】 地域支援事業の社会参加助成補助金について随時窓口で説明を行い、460人に助成した。 【課題】 障がいについて広く町民に知ってもらう機会が少ないため、啓発方法について検討する必要あり。	B	福祉課
3-2	子育て支援の充実	・子育て世代や高齢者、障がい者の身近な地域における生活を支えるために、地域に密着した生活支援サービスを充実します。	【取組内容】 子育て家庭の孤立感などの負担軽減を図り、安心して子育てができるよう子育て相談や親子教室、出前保育等様々な支援事業を実施した。 【成果】 ・地域とのつながりのない、家庭も多く見受けられ、ぼっぼかんへ来ることによって情報が得られ、子育てに役立っている方もみえる。 (平成28年度 ぼっぼかん利用者) 子ども 10,927人、おとな 9,404人 【課題】 全くぼっぼかんへ足を運んだことのない方もまだまだみえるため、健診等で施設の紹介をするなどして、孤立化しないような働きかけを行っていく必要あり。	A	福祉課
・多様な保育サービスの実施や子育て支援サービスを充実して、快適に子育てができるまちとしての魅力を高めます。		【成果】 多様な保育サービスとして、休日保育を延べ30人が、一時預かり保育は延べ1,048人が、可児市に委託している病児保育は、延べ4人が利用した。 子育て支援サービスでは、ファミリー・サポート・センターの利用が22回あり、会員数は61人となっている。 ・保健師の赤ちゃん訪問時に、ファミサポの無料券を配布することにより、問い合わせが増え認知度は上がってきている。 【課題】 御嵩町の地域柄、祖父母に面倒を見てもらえる家庭や、一時預かり保育を利用する家庭が多いという側面があるため、利用方法についての相談体制を検討する必要あり。	A		
・妊娠期から子育て期まで、途切れのない支援と親に寄り添う支援を充実し、安心して子育てができるように努めます。		【取組内容】 子ども・子育て支援事業計画に基づき妊娠期から子育て期までの途切れのない事業を実施した。 【成果】 支援が必要な子育て世帯に対しては、担当部署が情報を共有しケース会議などを実施し、連携して対応することにより、子育て世帯に寄り添い、安心して子育てができる環境を整えている。 【課題】 子ども子育て包括支援センターの設置に向けた検討をする必要あり。	A		

方向性	単位施策	施策の内容	平成28年度実績		
			実施した取組内容と成果及び課題	評価	担当課
3-3	地域防災体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災計画の見直しを進めるとともに、防災情報の伝達体制の充実や防災拠点の充実など、町の防災体制を強化します。 	<p>【取組内容】</p> <p>平成29年度の地域防災計画の見直しに向けて、県の改正内容などを入手し、情報収集に努めた。</p> <p>【成果】</p> <p>御嵩町防災コミュニティセンターが完成し、新たに防災拠点の一翼を担うことになり、町の防災体制が強化された。</p> <p>【課題】</p> <p>今後は、この防災コミュニティセンターをいかに適切に管理していくかが課題である。</p>	B	総務防災課
		<ul style="list-style-type: none"> ・自治会単位で自主防災組織の創設を促すとともに、防災倉庫や資機材などの充実、防災リーダーの育成、防災訓練や避難行動要支援者の避難訓練などを進めて、地域主体の防災体制を強化します。 	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織活性化研修を6月に開催し、各自治会長及び防災組織の長を集め、防災訓練への参加や、防災施設を整備する際の補助金等について説明し、啓発を行った。 ・防災訓練において、要支援者の安否確認から避難訓練までを実施し、災害弱者への体制強化を図った。 <p>【成果】</p> <p>防災リーダーの育成については、防災アカデミーを開催し、昨年度とほぼ同数の34名が新たに誕生した。</p> <p>【課題】</p> <p>全ての自治会が独自で防災訓練を実施してもらうには、どうすれば良いか検討する必要あり。</p>	A	
3-3	防犯活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における防犯力を高めるために、不審者情報の伝達を行うとともに、自主的な児童生徒の登下校時の見守り、防犯パトロールなどの活動の強化に取り組めます。 	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区の地域安全指導員とともに各地区の見回りを行った。 ・児童生徒が登校する際には交通安全協会が見守りを行った。 ・町職員による青バトの巡回も実施し、様々な人々の協力により犯罪の抑止に努めた。 <p>【課題】</p> <p>身近な見守り側の人間が犯罪を犯す事件も発生しており、今後どのように地域の防犯力を高めていくかが課題である。</p>	A	総務防災課
		<ul style="list-style-type: none"> ・地域防犯環境の向上を図るために、防犯灯の設置の支援や「子ども110番の家」の充実を促します。 	<p>【取組内容】</p> <p>自治会が防犯灯を設置する際の支援として、防犯灯設置補助金を交付することにより、設置の促進を図った。</p> <p>【課題】</p> <p>自治会からの設置希望数が多く、全ての要望に対応しきれないのが現状であり課題である。</p>	B	
3-3	交通安全の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全環境の向上を図るために、交通安全施設の整備や交通規則の見直しを要請します。また、誰もが交通事故の被害者や加害者にならないように、交通安全に対する意識を強く持つように啓発を強化します。 	<p>【取組内容】</p> <p>交通安全協会や交通安全女性、可児警察署等と共に、交通安全立哨、啓発活動を実施した。</p> <p>可児市防災安全課と連携をとり、交通安全に関する大会を開催するとともに、小中学生を対象としたポスター展なども実施し、交通安全の啓発に努めた。</p> <p>【課題】</p> <p>今後、一人一人が交通安全の意識を自分の事として、意識を持ってもらうための手法について検討する要あり。</p>	A	総務防災課

方向性	単位施策	施策の内容	平成28年度実績		
			実施した取組内容と成果及び課題	評価	担当課
3-4	スポーツの推進	・町民が身近にスポーツを楽しむことができるように、スポーツ活動を推進する団体の支援や指導者の育成を充実するとともに、スポーツ施設・設備の計画的な維持管理を進めます。	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ活動を推進する団体への支援 御嵩町(可児郡)体育協会への支援 町民ゴルフ大会(6/21) 準備及び当日の事務支援 ぎふ清流駅伝(10/16) 説明会兼激励会の開催、試走等補助 可児駅伝(12/11) 準備及び当日の事務支援 御嵩町スポーツ少年団への支援 団員登録、研修申込、会計等の事務支援 スポーツ交流会の開催支援 (上小 9/10、10/22、12/17、1/15、1/22、2/19) ・指導者の育成 スポーツ推進委員の研修参加(7/2、9/3、10/29、1/29) ベアーリング実技指導研修(御嵩商工会青年部 11/12) 家族でチャレンジスポーツ(11/20、1/22) 海洋性レクリエーションボランティア指導員の育成(町新人職員) ・スポーツ施設・設備の計画的な維持管理 施設・設備の巡回点検(年6回(奇数月)及び年末) 顔戸グラウンド外野フェンス(5月) 伏見グラウンドトイレ(8月) <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育協会支援:ゴルフ協会と連携し町民ゴルフ大会を開催、137人参加 ・ぎふ清流駅伝:無事完走することができた。(27位/27団体中) ・スポーツ少年団支援:団員増員を図るため、上之郷小学校児童を対象としたスポーツ交流会を開催。一部単位団では増員。全体では5名減の214名の登録。 ・指導者の育成:役場新規採用職員6名を海洋性レクリエーションボランティア指導員研修(6/10~12)に参加させ、八百津町で開催されたマリンスポーツフェスティバルにて指導員補助として参加した。 ・長年の懸案事項:顔戸グラウンド外野フェンス伏見グラウンドトイレを改修。 ・スポーツ施設・設備への年6回(奇数月)及び年末巡回を実施し、点検結果に基づき伏見グラウンド女子トイレのロータンク、綱木グラウンド管理棟の排水管、海洋センター1階アリーナの床を修繕した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育協会、スポーツ少年団ともに、会員(団員)が減少傾向にあり、組織活性化のためにも新規会員(団員)確保の必要あり。 ・B&G海洋センターをはじめ、社会体育施設の老朽化が進んでおり、長寿命化計画の策定とそれに基づいた改修・更新について検討する必要あり。 	A	生涯学習課
3-4	保健予防事業の充実	・町民一人ひとりが生活習慣に注意するなど、健康づくり意識を高めるとともに、町民の健康づくりのための活動を充実します。	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種検(健)診等を通じて、疾病の早期発見、早期治療などの疾病予防活動を行うことで、町民の健康状態や健康課題の把握に努めた。 ・健診後の相談・指導では一人ひとりが生活習慣改善への取り組みを促すよう働きかけを行い、健康づくり意識の高揚を図り、生涯を通じて健康的な生活習慣を身に着けられるよう活動を展開した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 40歳から74歳までの特定健康診査、75歳以上のすこやか健診の受診者数を増やすよう周知方法について検討の必要あり。 	B	福祉課
		・若者から高齢者まで幅広い世代に対し、健康教育や健康相談を充実するとともに、心の悩みを抱える町民のサポートを行います。	<p>【取組内容及び成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康教室(26回開催)…延べ202人の参加 ・健康相談(68回開催)…延べ709人に対して実施 ・栄養士による相談(30回開催)…延べ92人に対して実施 ・精神保健福祉相談(12回開催)…延べ30人に対し実施 ・家庭訪問…延べ61人に対して実施 電話相談…延べ1,083件の相談を受け付け <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に対する事業と介護予防事業とのすり合わせの必要あり。 	A	
3-4	健康づくりの推進	・町内の健康づくりを推進するリーダーとして、健康づくり推進員を養成します。	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年4回の健康づくり推進員通信の発行を通じて、町民を対象とした運動教室、栄養教室や自宅で行えるストレッチの紹介なども行い、健康づくりの推進を行った。 ・健康づくり推進員を対象に栄養教室を1回行った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在18人いる健康づくり推進員のうち活動に参加できる人が少ないため、より参加していただける体制を検討する必要あり。 	C	福祉課
		・子どもが健やかに成長するために、母子や乳幼児期からの健康づくりを支援します。	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子保健事業により母子や乳幼児期からの健康づくりを支援している。中でも、妊婦健康診査の助成(14回分)を行い、母子の健やかな成長、安全な出産の支援を行っている。 ・乳幼児健診、育児相談、発達相談などにより乳幼児の発達の不安や悩みの解消に努めた。 ・予防接種では、訪問や個別通知、広報などでお知らせをし、確実に実施できるよう支援している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・療育を受けることが必要な子供の発達段階に合わせた支援を考えていく必要あり。 	A	

方向性	単位施策	施策の内容	平成28年度実績		
			実施した取組内容と成果及び課題	評価	担当課
3-4	食育の推進	・町民の豊かな食生活を実現するために、学校・家庭・地域や地元農家などが連携して、安全な食の確保と食育を推進します。	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・向陽中学校で取り組まれたスーパー食育スクールの会議に出席し、乳幼児期から保育園、学校とつながった支援ができるように連携した。 ・各教室や家庭教育学級、食生活改善推進協議会による地域での食育の推進を行った。 ・保育園では食育計画に基づき、年齢に応じた食育目標を立て、自然観察(苗植・種まき・水やり・収穫)、食体験(会食・クッキング)、マナー態度の項目ごとに、管理栄養士の栄養指導をはじめ、地域の民生委員などと協力しながら進めた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元農家との連携について考えていく必要あり。 	A	福祉課
4-1	おもてなしの充実	・町民と来訪者とのふれあいを通して、御嵩の魅力を伝えていくため、町民のおもてなしの心の醸成、案内ガイドの人材育成ならびに交流・ふれあい体験の開催などを進めます。	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民・商店のおもてなしの心の醸成となる事業の実施(2件) 4月～11月 宿の市 6月、11月 御嶽宿・伏見宿プランター寄せ植え ・来訪者へのおもてなし目線での整備等の実施(7件) わいわい館おもてなしメニューの追加 願興寺Wi-Fi整備 観光看板修繕(額縁神社、伏見西坂) 鬼岩公園福おに橋架け替え 御嶽宿ポケットパーク看板製作 交差点誘導看板設置 観光パンフレット作成(みたけみつけたび等5種類) <p>【成果】</p> <p>来訪者目線で取り組むことにより、おもてなしという明確な目的が意識され、来訪者と心の通った交流に繋がっている。 外国人観光客数(わいわい館入館者):295人(前年比45人増)</p> <p>【課題】</p> <p>地域でのおもてなしの心は向上傾向であるが、外国人旅行者への対応や、観光の産業化に繋がる質の高いガイド人材を確保する必要あり。</p>	B	まちづくり課
4-1	観光の魅力向上	・御嶽宿や伏見宿の保全・再生はもとより、地域の歴史や自然などの資源を改めて見直し、その資源を大切にしながら、町民、各種団体、事業者などが一体となって、新たな観光拠点の整備や特産品の開発・研究を進めます。	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政及び各種団体による観光PR・ええもんPR等の実施(4件) 4月、3月 FCぎふ 御嵩町ホームタウンデーにてええもん販売・PR 5月 かも1グランプリにて観光PR及びええもん販売・PR 2月 中日新聞企画広告へ掲載し観光PR 2月 都市圏プロモーション(東京、名古屋) ・魅力向上の為の町民団体による事業の実施 10月 御嶽宿わいわい館景観修景作業(1回) 11月 願興寺牡丹植栽(1回) 4月～3月 伏見ふれあい遊歩道整備 <p>【成果】</p> <p>町民、各種団体、事業者において観光の魅力向上の意識が根付き始め、前向きな活動の成果として、みたけのええもん認定数が4品増の合計16品となった。</p> <p>【課題】</p> <p>「みたけのええもん」の認定数も増えているが、この制度を利用して今後の特産品の開発等を発展させるには、観光資源を生かした滞在型の観光を考える必要あり。</p>	B	まちづくり課
4-1	地域振興イベントの開催	・「よつてりやあみたけ～夢いろ街道宿場まつり～」や「みたけの森ささゆりまつり」など地域に定着したイベントをさらに盛り上げていくとともに、多くの人に御嵩町を訪れてもらえるよう、町民主体による様々な地域イベントの開催を支援します。	<p>【取組内容①】</p> <p>地域イベント支援の実施(7件)</p> <ul style="list-style-type: none"> 5月～6月 みたけの森花あるき(21日間338人参加、内町外296人) 8月 よつてりやあみたけ～夢いろ街道宿場まつり～ 10月 鬼岩岩穴くぐり(2日間1,300人参加、アンケートにより約9割が町外) 11月 中山道往来～なかせんどううおーく～(1,200人参加) 2月～3月 御嶽宿・伏見宿のひなまつり 4月～3月 エコピアガーデン <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各イベントが前年度に引き続き盛り上がり、町外からの参加も多くあった。 ・岐阜県観光入込客統計調査による観光入り込み客数は前年比1万人増の52万人となった。 <p>【課題】</p> <p>今後、観光基本計画を推進するなかで、各主催者が自立・継続した開催ができるよう、促す必要あり。</p> <p>【取組内容②】</p> <p>地域づくり活動助成事業を実施(5団体) (MKA12愛好会、竹炭工房とう坂、御嵩町へポ愛好会、みたけ落語会、ふしみこども食堂)</p> <p>【成果】</p> <p>各団体が助成金を有効活用し、地域づくりイベントなどが開催された。</p> <p>【課題】</p> <p>助成終了後も地域づくり活動が継続できるよう、事業収入等を見据えた活動を促す必要あり。</p>	B	まちづくり課

方向性	単位施策	施策の内容	平成28年度実績		
			実施した取組内容と成果及び課題	評価	担当課
4-2	タウンプロモーションの推進	・町の地域イメージの向上および地域のブランド化を進め、総合的に町の魅力を高めていくことを目指して、タウン・プロモーションを展開します。	<p>【取組内容】 東京都内、大阪市内、名古屋市内においてプロモーション活動を行った。特に都庁内で町が単独で実施することは稀であったこともあり、多くの方が来場され、まちづくり課と連携して特産品をPRし、御嵩町の魅力について耳を傾けていただけた。</p> <p>【成果】 ・タウンプロモーション来場者数(東京都内、大阪市内、名古屋市内のプロモーション実施時の総来場者数: 2,100名) ・火気厳禁の会場もあったため、全ての特産品を持参することはできなかったが、それでも多くは早期に完売し、好評を得た。</p> <p>【課題】 ・プロモーションを行った際のアンケート結果について、平成29年度に実施するプロモーションの改善点、新たな取り組みを検討し、更なる知名度アップを図る必要あり。 ・今後も継続して御嵩町をPRしていく必要があるため、出展時の規模や客層(子育て世代や退職世代といった世代毎)に合った内容にしていく必要あり。</p>	A	企画課
4-2	地域情報の発信強化	・まずは、様々な媒体を活用して、自然や歴史文化、地域産業など地域の魅力を積極的に町内外に情報発信します。	<p>【取組内容】 月に1度発行する町の広報誌「ほっとみたく」における情報発信は勿論のこと、ホームページ、フェイスブック、ツイッターといったSNSを活用して、町の旬な話題、情報、観光用PR動画をタイムリーに発信した。</p> <p>【成果】 町内及び近隣市町に発行されるフリーペーパー「かにさんくらぶ」では、中山道御嶽宿を取り上げていただいたほか、FMらら、ケーブルテレビ可児、新聞など、各種媒体を大いに活用し、町の魅力を発信することができた。</p> <p>【課題】 短い文章やキーワードで多くの内容や意味を伝えるため、「言葉選び方」は最も重要であると考えられ、今後も継続して研究していく必要あり。</p>	B	企画課
		・総合的に地域の魅力を発信していく取組を通じて、より多くの人に「行ってみたいまち」、「住んでみたいまち」、「起業してみたいまち」と感じられる魅力あふれるイメージ形成を図ります。	<p>【取組内容】 空き家バンク、子育て支援情報、地域の催し案内等「岐阜県御嵩町移住交流・子育て応援ポータルサイト」を活用し、御嵩町を知ってもらうために情報発信を行った。</p> <p>【成果】 移住を検討されている方から「この地域の特性について教えてほしい。」等、電話にて移住に関する具体的な相談が複数あり、徐々に浸透していることが感じられた。</p> <p>【課題】 現在農林課で計画している農業体験型宿泊施設等と連携して「見る」から「感じる」に発展できるよう連携体制を強化する必要あり。</p>	B	
4-3	工業団地の整備と企業誘致	・既存工業団地に工業用地を有する企業に対しては、工場の立地や拡張しやすい環境を整えとともに、新たな工業団地の計画を推進します。	<p>【取組内容】 ①御嵩町工場誘致条例に基づく奨励金の交付はなかったが、奨励金の対象となる工場指定の申請が1件あった。 ②町が所有する工場誘致可能区画はなく、また新規工業団地の計画は進行していない。 ③岐阜県が行う工場用地開発可能性調査にて、可能性を探っている。</p> <p>【課題】 ①事務処理方法の確立と、町財政を考慮したスムーズかつ適切な事務処理が行えるようにする必要あり。 ②平成28年度の調査を実施する選考に漏れたが、以降も積極的に情報提供していく。</p>	C	企画課
4-3	将来につながる農林業の推進	・林業基盤の整備、計画的な施業推進により、着実に森林の整備・保全を進めます。	<p>【取組内容】 ・森林保全活動を目的とした森林ボランティア「水土里隊」の活動基盤である隊員の技術支援及び、補助金の活用に務めた。 ・「町民参加による環境モデル林整備事業」の主体として、また町青少年育成町民会議行事等の協力をを行っている。</p> <p>【成果】 補助金により水土里隊の活動の幅が広がった。</p> <p>【課題】 ・補助金の手続きが煩雑。 ・活動が補助金頼みとなっている。</p>	C	農林課
		・地域営農組織、新規就農者の育成支援などにより、担い手確保を図りつつ、バイオマス利用、地産地消の推進、環境にやさしい農業など未来につながる農業を展開します。	<p>【取組内容】 1経営体を法人化、新規就農者1人を認定し担い手確保を図っている。また、学校給食に地元野菜を使用した。</p> <p>【成果】 地産地消を進めることができた。</p> <p>【課題】 農業者の確保が十分でないため、人材確保について検討する必要あり。</p>	C	
4-3	魅力的な商業・サービス業の育成	・町民の暮らしに必要な店舗の確保、国道21号可児御嵩バイパスが近接した立地条件を生かした店舗などの誘致を促すとともに、町の魅力化・個性化につながる商業の育成を図ります。	<p>【取組内容】 御嵩町観光基本計画の策定</p> <p>【成果】 観光の産業化を目指しており、商業の育成に繋がる計画となっている。</p> <p>【課題】 空き家となっている古民家があり、その良さを活用した魅力的な商業、サービス業に展開する可能性があため、事業者を支援する中間支援組織の設立について検討する必要あり。</p>	B	まちづくり課

方向性	単位施策	施策の内容	平成28年度実績		
			実施した取組内容と成果及び課題	評価	担当課
4-3	起業支援と雇用機会の創出	・人材育成、創業支援などの取組を強化し、町の資源を生かして新たな事業に取り組んでみようという若者や女性を支援し、多様な雇用機会の創出につなげます。	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・御嵩町中小企業・小規模企業振興基本条例の制定 ・小規模事業者経営改善資金利子補給(7件285,800円) ・御嵩町観光基本計画の策定 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条例の制定により中小企業等の発展に対する町等の役割が明確となり、今後の支援に繋がるものとなっている。 ・観光基本計画は観光の産業化を目指しており、雇用創出が目標の一つとなっている。 <p>【課題】</p> <p>創業支援事業計画が期待されていることから、企業支援となるより具体的な施策について検討する必要あり。</p>	B	まちづくり課
5-1	亜炭鉱廃坑対策の推進	・亜炭鉱廃坑の防災対策を進めるため、「南海トラフ巨大地震亜炭鉱跡防災モデル事業」を進めます。あわせて、継続的な防災対策が可能となるように国・県などへの要望を継続します。また、亜炭鉱廃坑対策の調査研究やハザードマップの更新に取り組めます。	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「南海トラフ巨大地震亜炭鉱跡防災モデル事業」については、第1期地区として役場駐車場や御嵩小学校、向陽中学校のグラウンド、また第2期、第3期地区として、顔戸・比衣地内の民間宅地で、約8.4haの範囲を対策し、平成28年度に完了した。 ・平成29年度からは、H28年度国補正により措置された「南海トラフ巨大地震亜炭鉱跡防災対策事業」に取り組み、モデル事業同様に期限内に、確実に成果が上げられるよう進める。 ・亜炭鉱廃坑の調査研究やハザードマップの更新については、引続き取り組む。 	B	亜炭鉱廃坑対策室
5-1	消防・救急体制の充実	・消防の機能や体制の充実を図るとともに、消防団を中心とした地域防災力の強化を図ります。また救急体制の充実に努めます。	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可児郡連合演習において、4地区消防団合同で訓練を実施し、消防署とも共同で訓練を実施することで、各団体間の連携強化を図った。 ・消防団協力事業所については、事業所が減税制度利用に際しての証明書の発行を行い、協力した。 <p>【課題】</p> <p>消防力の強化は何より地域住民の協力が不可欠であるため、いかに住民に防災の意識付けを図り、協力してもらうか検討する必要あり。</p>	A	総務防災課
5-1	信頼できる医療体制の確立	・行政および地域の医療関係者相互の連携、広域的な連携を強化して、町民に迅速で適切な医療サービスを提供できる体制を確立します。	<p>【取組内容】</p> <p>可茂地域病院群輪番制病院設備整備事業負担金、救命救急センター運営費負担金などを支出し、地域医療・救急医療の推進することにより、町民に対し適切な医療サービスを提供できる体制を整えている。</p> <p>【課題】</p> <p>町内以外に可児市医師会又は可児歯科医師会内の医療機関で検診等が実施できないか検討する必要あり。</p>	B	福祉課
5-1	治山治水対策	・森林・農地の保水機能を保持するとともに、山地崩壊・土砂流出を予防するための調査ならびに治山・砂防工事を推進します。また、水害防止のための河川改修などについても計画的に推進します。	<p>【取組内容】</p> <p>治山事業の施行者である岐阜県と協力し、事業実施に向けて地元対策などを行った。</p> <p>【成果】</p> <p>治山工事が完成できた。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・治山事業の実施が岐阜県の予算によって変わるため、計画どおりに治山治水対策が進まない。 ・所有者が行方不明となっており、治山治水対策が進まない。 	B	農林課
5-2	地域文化の創造	・地域の伝統や個性に根ざした町民の自主的な活動を通じて、住民団体による新しい文化活動を推進し、「みたけらしさ」が感じられる地域文化を創造します。	<p>【取組内容】</p> <p>(図書館)</p> <p>エントランスでの「ミニ展示」11回、「一般向け講座」5回、「親子向け講座」1回、「子ども向け講座」4回を開催した。</p> <p>毎月の定例行事として、絵本などの読み聞かせ、映画上映会を実施した。</p> <p>(郷土館)</p> <p>「特別展」1回、「企画展」2回、「資料紹介展」1回、2階ロビーでの「ミニ展示」6回、「講座(陶芸教室・ウォーキング含む)」5回を開催した。</p> <p>そのほか、「文化協会作品展」1回、「御嵩町内学校美術部作品展」1回、「御嵩町美術展」を5分野に分けて開催した。</p> <p>郷土資料等収集事業として、御嵩町出身作家の絵画等を購入した。</p> <p>(竹屋資料館)</p> <p>「ミニ展示」14回、「講座」6回、竹屋茶室を利用した「お茶会」4回を開催した。</p> <p>【成果】</p> <p>図書館・郷土館・竹屋資料館の3館とも、様々な行事を複数開催したが、館全体の入館者数は図書館・郷土館58,132人(前年度比-4,408人)、竹屋資料館8,119人(-1,260人)へと減少した。</p> <p>【課題】</p> <p>子どもの読書離れ、施設の老朽化などの要因も考えられるが、魅力ある施設づくり及び行事等の運営を開催していくことが課題として考えられる。</p> <p>29年度については、再度利用者の目線に立った施設の魅力アップに努めていく。</p>	A	生涯学習課

方向性	単位施策	施策の内容	平成28年度実績		
			実施した取組内容と成果及び課題	評価	担当課
5-2	歴史文化の 保全と承継	<p>・本町は中山道の宿場町および願興寺の門前町として栄え、その時点から400年以上の歴史があります。こうした町の歴史文化、伝統が次の世代に継承されるよう、文化遺産の保存、伝統行事の継承を進めるほか、町民が歴史を学ぶことのできる機会を提供します。</p>	<p>【取組内容】 平成9年度より実施してきた「中山道」整備事業である「歴史の道整備活用推進事業」を経て、平成28年10月には、町内の「中山道」14.5kmのうち、3.6kmが国史跡として指定された。 国重文「願興寺本堂修理」についても平成29年度から37年度までの9年に間に渡る事業として実施する予定である。</p> <p>【成果】 ・28年度実績(展示)…特別展「くらしを彩る土人形」、企画展「郷土ゆかりの芸術家たち」、岐阜県博物館移動展「弥生から古墳へ」、資料紹介展「商家竹屋調度品展」を開催 ・28年度実績(講座等)…「歴史の道 中山道を歩こう!」、岐阜県博物館移動展「弥生から古墳へ」講演会、ワークショップ「まが玉を作ろう」、「円空彫り体験」を開催 ※平成29年度については、特別展「国重文 願興寺十二神将展」及び「企画展「平成版 岐菰路安見絵図展」を開催予定。</p> <p>【課題】 これまでも、中山道みたけ館を拠点とした展示や講座等を通して周知をはかってきたが、今後も御嵩町の歴史的な財産である「中山道」や「願興寺」はもろろのこと、町内に点在する文化遺産の保存、継承、活用に努めていく必要あり。</p>	A	生涯学習課
5-2	景観の保全	<p>・町の大きな魅力の一つである自然景観や田園景観など“みどりの景観”を、町民の誇れる財産として守り育てます。そのため、林業の計画的な施業や農地保全を進めるとともに、みどりを守り育てる住民団体の活動を支援します。</p>	<p>【取組内容】 森林法及び農地法等各種法規制により景観保持を行っている。</p> <p>【成果】 森林法及び農地法等各種法規制により景観保持がなされている。</p> <p>【課題】 人家から離れた土地での不適正事案に対する発見が困難である。</p>	B	農林課
5-3	公共交通の 利用促進と 体系の見直し	<p>・鉄道事業者と協力して名鉄広見線の利用促進を図ります。また、駅周辺での都市機能集積を促すとともに、バスや自転車、駐車場との連携強化を進めます。</p>	<p>【取組内容】 ・名鉄との協議の末、企画きっぷを販売した。 ・名鉄広見線活性化協議会の補助制度を実施した。 ・活性化ニュースを4回発行し、情報発信に努めた。今後も記事内容を精査し、充実した情報発信を行う。 ・町外からの観光客誘致にも繋げられるようふれあい予約バスの停留所(マリア像前)を1カ所増設した。</p> <p>【成果】 ・企画きっぷ:375枚の購入 ・補助制度:延べ787名・68団体の申請があった。 ・活性化協議会によるイベント(カレー太郎電鉄(105名)、子どもまつり(144名)、鉄道の日(242名))に計491名の参加があり、電車利用特典事業(よってりやあみたけ(558名)、乳幼児学級(48名)、環境フェア・環境フェスタ(58名))で計664名の利用があった。</p> <p>【課題】 ・企画きっぷ:地域外からの利用促進に効果があるため、継続して販売し、これまで以上に御嵩町に人を呼び込む効果を生むことができるよう周知方法を検証したうえで、実施する必要あり。 ・補助制度:地域内外の利用促進のため、新たな補助制度の検討と補助制度自体の周知を徹底する。 ・ふれあいバス及びふれあい予約バス:今後さらに住民の声に応えられるよう、また観光客を含めた利用者を増加させていけるよう公共交通関係機関やまちづくり担当課と協議を重ねて充実させていく必要あり。</p>	B	企画課
5-3	道路の整備 と維持管理	<p>・道路や橋、トンネルなどの構造物の適正管理と長寿命化により、安全・安心な道路環境づくりを推進するとともに、国道、県道を含めた幹線道路の改良・整備を促進します。</p>	<p>【取組内容及び成果】 ・橋梁長寿命化修繕計画に基づき、修繕工事を実施している。 ・町内の橋梁について、平成28年度までに141橋の法定点検を実施した。 ・毎年、国・県との事業調整会議を開催し、主要道路の改良整備について要望を継続していく。</p>	B	建設課

方向性	単位施策	施策の内容	平成28年度実績		
			実施した取組内容と成果及び課題	評価	担当課
5-3	地域環境の美化促進	<p>・環境汚染防止のための監視体制を強化するほか、環境美化活動を推進します。また、空き家・空き地の適正管理を促すとともに、これらを活用した移住者の受け入れなど地域振興に生かします。</p>	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監視による不法投棄の抑止力として、不法投棄パトロールを行った。 ・住民の方に、町内一斉清掃、可児川クリーンキャンペーン等に参加していただくよう周知し、環境美化活動の推進を図った。 ・毎週日曜日に、不法投棄監視パトロールを実施し、不法投棄の防止、迅速な発見に努めた。 <p>【成果】</p> <p>5月に、町内一斉清掃、10月に松野湖クリーン作戦、2月に可児川クリーンキャンペーンを町民に対して啓発をおこない、大勢の方に参加いただいた。</p>	A	住民環境課
			<p>【取組内容】</p> <p>住民から危険な空家についての情報提供があった際には、所有者等を調べ、適切な管理をしていただくよう、通知を行った。</p> <p>【成果】</p> <p>特定空家については1軒解体まで進めることができた。</p> <p>【課題】</p> <p>特定空き家の所有者がいかに危険な建物であるかを自覚してもらい、解体へ促すまでが、非常に困難である。</p>	B	総務防災課
			<p>【取組内容】</p> <p>住民環境課による監視、総務防災課による適正管理指導を根気よく続け、企画課にあつては空き家バンクに当該物件を登録し、互いに問題解決していくことを対象者に勧めた。</p> <p>【成果】</p> <p>上記物件を空き家バンクの物件として登録していただき、その結果、平成28年度中に売却が完了した。環境、防犯及び移住と幅広い面で事案を解消することができた。</p> <p>【課題】</p> <p>環境美化意識の向上や、適正な空き家、空き地管理を進めることで移住希望者にはプラスのイメージを与えられる。言い換えれば御嵩町の魅力に直接繋がっているとも考えられるため、今後も御嵩町全体として既存の活動及び制度を維持・改善しながら移住・定住を進めていく必要あり。</p>	B	企画課
5-3	都市公園等の維持管理	<p>都市公園である南山公園をはじめ、身近な公園や緑地の整備や適正な維持管理を推進し、緑豊かな憩いの場づくりに努めます。</p>	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市公園である南山公園は管理委託業務にて定期的な維持管理を実施するとともに、遊具については専門業者による年2回の点検及び職員による毎月点検を実施した。 ・必要に応じて修繕を行い緑地の整備や適正な維持管理を推進した。 <p>【課題】</p> <p>今後については遊具の維持管理、更新等を検討し魅力ある公園づくりに努める必要あり。</p>	B	建設課
5-3	上下水道の整備と維持管理	<p>・安全で安心な水を安定的に供給するとともに、生活排水処理施設の整備などに取り組み、環境保全に努めることで、衛生的で快適な生活環境づくりを推進します。</p>	<p>【取組内容】</p> <p>平成28年度末をもって、上之郷地区無水道解消事業を完了した。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・井戸水による生活不安を解消し、良好で文化的な生活を営むことができるようになった。 ・下水道の整備促進に努め、老朽管改築事業による不明水対策の実施により汚水の地下浸透を防止し、衛生的で快適な生活環境の確保に努めている。 	A	上下水道課